すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2018 平成30年 10-20 No.554

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート

飯山市
秋季例祭

そこかしこで、五穀豊穣を祈る秋祭りが盛んな初秋の飯山。各集落ごとに数多くの伝統舞踊が奉納され、老いも若きも、住民総出の祭りは深夜まで続きます。一生懸命に練習した薙刀の舞を演ずるのは４人の小学生。お兄ちゃん達の晴れ姿を見つめる小さな子供らに、日本のこころが脈々と受け継がれていきます。

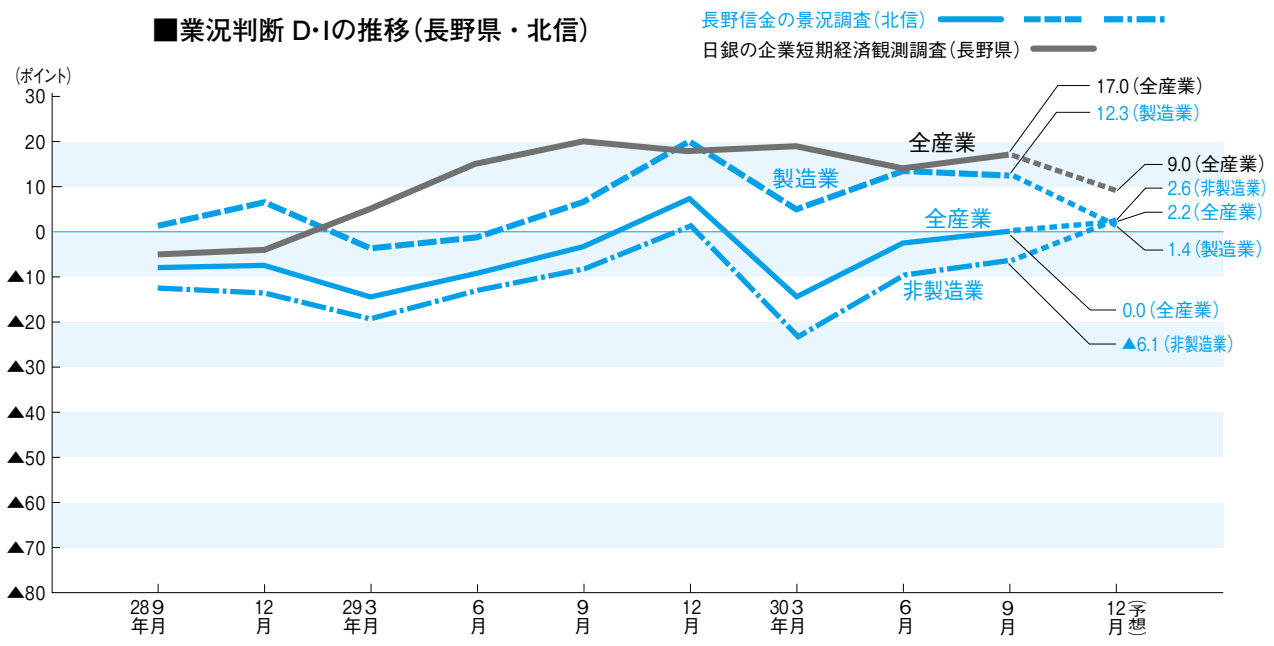
■ 長野しんきん 景況調査レポート ……2
■ 企業アンケート 人材確保 ① ……6
■ 生活者アンケート 環境問題 ① ……9
■ 北信濃　江戸時代の風景 (51) 権堂の水茶屋 …10

長野信用金庫

景況調査レポート　概　況（第173回景況アンケート調査）

◆長野県北信地区◆平成30年７～９月期…景気の現状 ◇30年10～12月期…景気の見通し

■業況判断 D･Iの推移（長野県・北信）



D･I指数は、業況について「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値（四半期ごとに実施する景況アンケートに基づく）

全産業▲3→ ±0　非製造業が改善

平成30年７～９月期の業況判断Ｄ･Iは、全産業で３ポイント改善して±０となりました。製造業は２ポイント悪化の＋12、非製造業は４ポイント改善の▲６です。

平成30年10～12月期の全産業の業況判断Ｄ･I（予想）は、２ポイント改善の＋２となりました。

◆北信地区の７月～９月期の業況判断Ｄ･I

	前期	今期		来期（予想）
全産業	▲３ →	±０	（３ポイント改善） →	＋２
製造業	＋14 →	＋12	（２ポイント悪化） →	＋１
非製造業	▲10 →	▲６	（４ポイント改善） →	＋３

非製造業▲10 → ▲6　卸小売･サービスが改善

非製造業の**業種別業況判断Ｄ･I**は、建設業が▲５（前期比▲４ポイント）、卸小売業が▲９（同＋８ポイント）、サービス業が▲４（同＋10ポイント）となり、卸小売業・サービス業が改善しています。

◆非製造業の業種別業況判断D･I

	前期	今期		来期（予想）
非製造業	▲10 →	▲６	（４ポイント改善） →	＋３
建設業	▲１ →	▲５	（４ポイント悪化） →	＋８
卸小売業	▲17 →	▲９	（８ポイント改善） →	▲２
サービス業	▲14 →	▲４	（10ポイント改善） →	±０

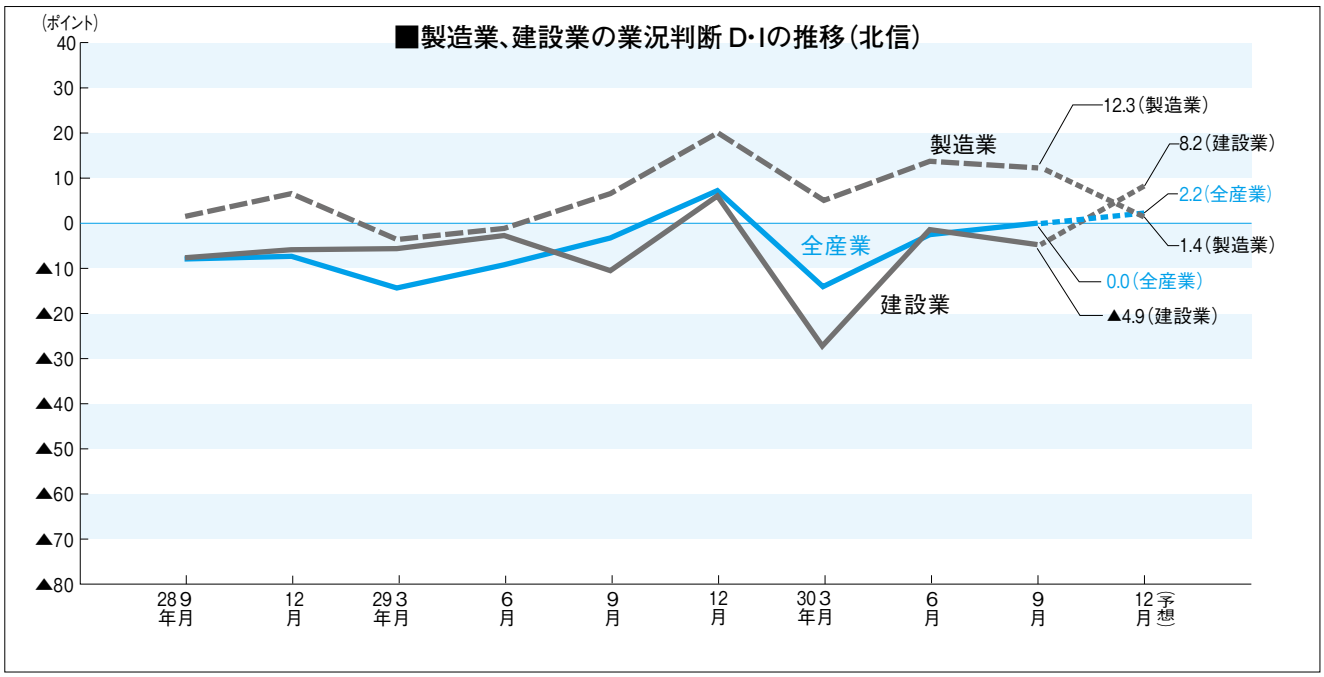
◆売上高D･Iと収益判断D･I

	売上高D･I（「増加」－「減少」）		収益判断D･I（「増益」－「減益」）	
	前期	今期	前期	今期
全産業	＋３ →	＋６（改善）	▲３ →	±０（改善）
製造業	＋17 →	＋８（悪化）	＋３ →	＋９（改善）
非製造業	▲３ →	＋５（改善）	▲６ →	▲４（改善）

●北信地区の業況判断 D･Iの推移

	29年12月	30年3月	6月	9月	12月（予想）
全産業	+7.1	▲14.0	▲2.5	±0.0	+2.2
製造業	+20.0	+5.3	+13.8	+12.3	+1.4
非製造業	+1.2	▲23.2	▲9.5	▲6.1	+2.6

［調査要領］
●調査実施……平成30年９月
●調査対象企業（回収）
　製造業……74社
　建設業……62社
　卸小売業……43社
　サービス業……47社
　合計……226社
●回収率……84.4％
●従業員規模
　30人未満……73.9％
●分析……Ｄ・Ｉ判断指数を中心に分析



製造業の景況

2ポイント悪化して+12に、来期も悪化の予想

製造業の**７～９月期**の業況判断Ｄ･Ｉは＋12で、前期（＋14）に比べ２ポイント悪化となりました。**10～12月期**は今期より11ポイント悪化の＋１の予想です。

	（前期）	４～ ６月期	＋14
◆業況判断D･I	（今期）	７～ ９月期	＋12
	（来期）	10～12月期	＋ １（予想）

◇業種別業況判断D･I

改　善	一般機械･電気機械･自動車部品
悪　化	食料品･金属加工･精密機械

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…＋９（６ポイント改善）

「増益」割合	前期 24%	→ 27%（３ポイント増加）
「減益」割合	前期 21%	→ 18%（３ポイント減少）

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 53%	→ 53%（横 ば い）
「収支トントン」	前期 38%	→ 34%（４ポイント減少）
「赤字」	前期 10%	→ 14%（４ポイント増加）

企業からのコメント

★台風等の影響で玄そば価格が高騰。原料確保を競争しなければならない状況は良くない。（そば）

★需要やや減少気味。売価もユーザーの要望に応える件数が増えてきている。（段ボール用印版）

★鉄鋼価格の高止まりで収益は低調。価格交渉は以前と比べて交渉の余地は残されている。（金属製品）

★米中の貿易摩擦の影響が、世界経済の先行き不透明につながらないか危惧する。（医療機器）

建設業の景況

4ポイント悪化して▲5に、来期は改善の予想

建設業の**７～９月期**の業況判断Ｄ・Ｉは▲５で、前回（▲１）に比べ４ポイント悪化しています。**10～12月期**は今期より13ポイント改善の＋８の予想です。

	（前期）	４～ ６月期	▲１
◆業況判断D･I	（今期）	７～ ９月期	▲５
	（来期）	10～12月期	＋８（予想）

◇業種別	総合建設	前期 ± ０ → ▲10（10ポイント悪化）
	土木工事	前期 ± ０ → ▲ ８（８ポイント悪化）
	建　　築	前期 ＋13 → ＋ ５（８ポイント悪化）
	各種設備	前期 ▲17 → ± ０（17ポイント改善）

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…▲８（８ポイント悪化）

「増益」割合	前期 21%	→ 12%（９ポイント減少）
「減益」割合	前期 21%	→ 20%（１ポイント減少）

◆現在の採算状況…悪化

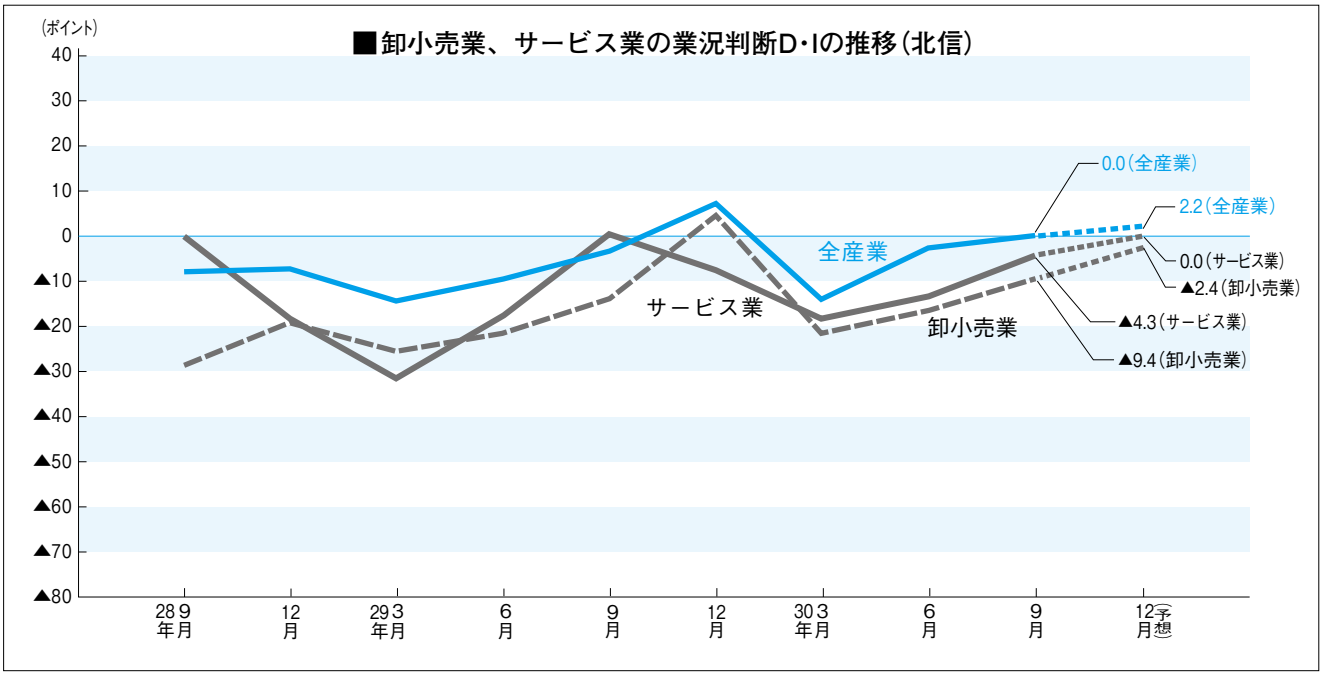
「利益確保」	前期51%	→ 48%（３ポイント減少）
「収支トントン」	前期45%	→ 42%（３ポイント減少）
「赤字」	前期 4%	→ 10%（６ポイント増加）

企業からのコメント

★競合が増え受注が減ってきている。空き家対策の相談が増えてきた。

☆★消費税10%に向けて駆け込み需要が増えているように思うが、反動が心配。（以上総合建設）

☆★2020東京オリンピックまでは順調の様子だが、県内の仕事はあまり増えていない。（建築）



卸小売業の景況

業況は8ポイント改善の▲9、来期も改善の予想

卸小売業の**７～９月期**の業況判断D･Iは▲９で、前回（▲17）に比べ８ポイント改善しました。**10～12月期**の業況判断D･Iは７ポイント改善の▲２の予想です。

◆業況判断D･I	（前期）	4～ 6月期 ▲17
	（今期）	7～ 9月期 ▲ 9
	（来期）	10～12月期 ▲ 2（予想）

◇業種別	卸売業	前期 ▲11 → ▲13%（ 2ポイント悪化）
	小売業	前期 ▲20 → ▲ 7%（13ポイント改善）

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…▲５（５ポイント改善）

「増益」割合	前期15% → 24%（９ポイント増加）
「減益」割合	前期25% → 29%（４ポイント増加）

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期40% → 40%（横 ば い）
「収支トントン」	前期50% → 49%（１ポイント減少）
「赤字」	前期10% → 12%（２ポイント増加）

企業からのコメント

★気候変動・世界情勢・その他諸々の環境が不穏で、不安になる。（軽包装材料卸売）

★少子化、天候不順、ライフスタイルの急激な変化、全てが業況に影響していると思う。（和洋菓子小売）

☆★猛暑で夏物家電は良かったが、これからの消費は望めそうもない。（家電）

☆★残業をできるだけ少なくするよう、仕事の効率化を進めようとしている。（自動車販売・整備）

サービス業の景況

業況は10ポイント改善の▲4、来期も改善の予想

サービス業全体の**７～９月期**の業況判断D･Iは▲４で、前回（▲14）と比べ10ポイント改善しました。業種別では、輸送・観光・不動産が改善しています。

10～12月期の業況判断D･I（予想）は４ポイント改善の±０です。

◆業況判断D･I	（前期）	4～ 6月期 ▲14
	（今期）	7～ 9月期 ▲ 4
	（来期）	10～12月期 ± 0（予想）

◇業種別業況判断D･I

サービス	前期 ＋ 22 → ± 0（22ポイント悪化）
輸送	前期 ▲ 50 → ▲ 25（25ポイント改善）
タクシー	前期 ▲100 → ▲100（横 ば い）
運輸	前期 ▲ 17 → ＋ 20（37ポイント改善）
外食	前期 ± 0 → ▲ 10（10ポイント悪化）
観光	前期 ▲ 44 → ▲ 11（33ポイント改善）
不動産	前期 ± 0 → ＋ 18（18ポイント改善）

企業からのコメント

★長野地区でも前年比５％の売上減少が続く。回復傾向見られず、ガマン比べも限界の状況。（タクシー）

☆★件数増の受注はできたが、くじ運による受注が多く非常に不安感あり。（測量・建設コンサルタント）

☆★業界全体では下降状態。他社にない独自のリゾート施設を目指し、進化すべく努めていく。（旅館）

★物件では売りが圧倒的に少ない。競売を想定すれど高値感がある。（不動産）

雇用情勢　7～9月期

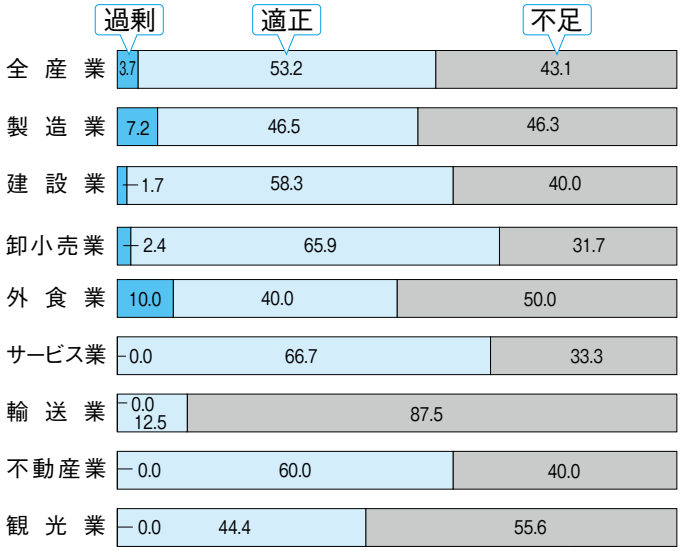
外食・製造・サービスも悪化

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲39となり、前回（▲31）より8ポイント悪化しています。

雇用情勢　（「過剰」－「不足」）

業　　種	前期（4～6月）	今期（7～9月）
全産業	▲31.2	▲39.4
製造業	▲26.9	▲39.1
建設業	▲30.4	▲38.3
卸小売業	▲26.1	▲29.3
外食業	▲16.7	▲40.0
サービス業	▲22.2	▲33.3
輸送業	▲90.0	▲87.5
不動産業	▲33.3	▲40.0
観光業	▲55.6	▲55.6

従業員の過不足感（%）



（資料：当金庫）

資金繰り　7～9月期

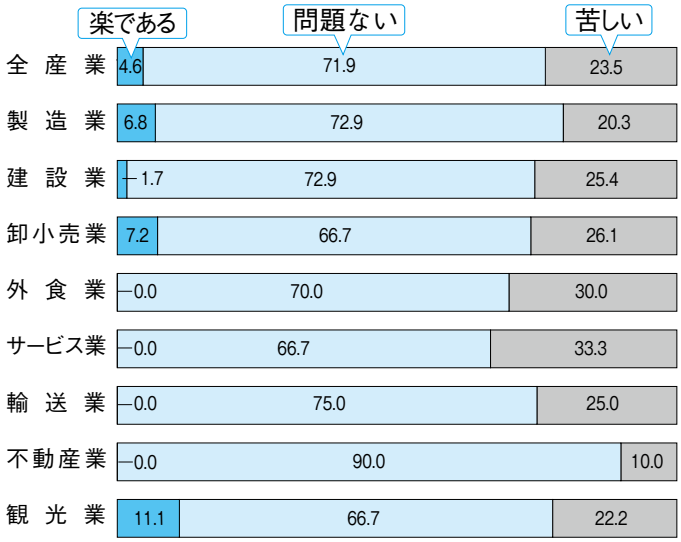
サービス・不動産が悪化、観光・輸送は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲19となり、前回（▲20）と横ばいの傾向です。

資金繰り　（「楽である」－「苦しい」）

業　　種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	▲20.1	▲18.9	▲19.5
製造業	▲13.9	▲13.5	▲20.5
建設業	▲20.9	▲23.7	▲21.7
卸小売業	▲27.1	▲18.9	▲16.6
外食業	▲18.2	▲30.0	▲10.0
サービス業	▲11.1	▲33.3	▲11.1
輸送業	▲45.5	▲25.0	▲25.0
不動産業	+8.4	▲10.0	▲ 9.1
観光業	▲44.4	▲11.1	▲37.5

資金繰り状況感（%）



（資料：当金庫）

販売価格動向　7～9月期

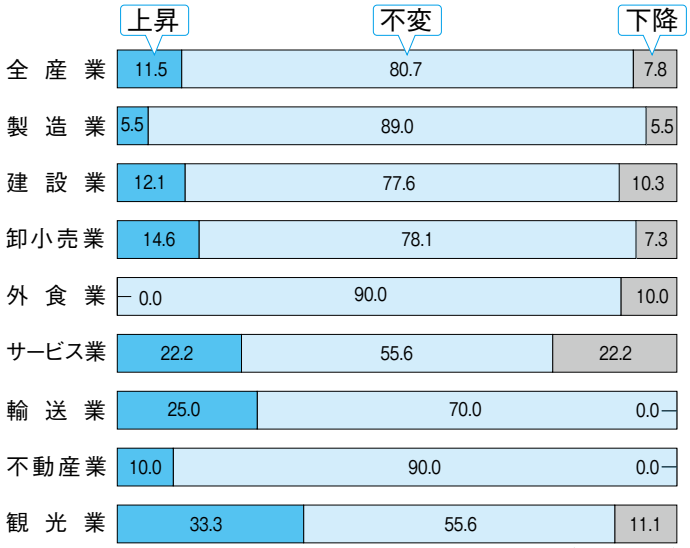
サービスが上昇、外食は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で＋4となり、前回（＋6）に比べ2ポイント下降しています。

販売価格動向　（「上昇」－「下降」）

業　　種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	+6.4	+3.7	+3.7
製造業	+5.5	±0	▲1.4
建設業	+3.1	+1.8	▲6.9
卸小売業	+4.3	+7.3	19.0
外食業	+18.2	▲10.0	±0
サービス業	▲11.1	±0	±0
輸送業	+27.3	+25.0	+37.5
不動産業	+8.4	+10.0	＋ 9.1
観光業	+22.2	+22.2	+12.5

業種別販売価格動向（対前期）（%）



（資料：当金庫）

企業アンケート　**人材確保** ①　30年9月調査

人材を確保する上での問題点　1位「**応募者が少ない**」54%

人材が不足している部門　1位「**現場・作業スタッフ**」59%

人材を確保する上での問題点　50%を超える「応募者が少ない」をトップに、「求める人材との差が大きい」と「採用しても定着率が低い」との回答が上位になりました。

人材が不足している部門　「現場・作業スタッフ」が６割弱を占め、「営業スタッフ」が４社に１社を数えます。

人材を確保する上での問題点

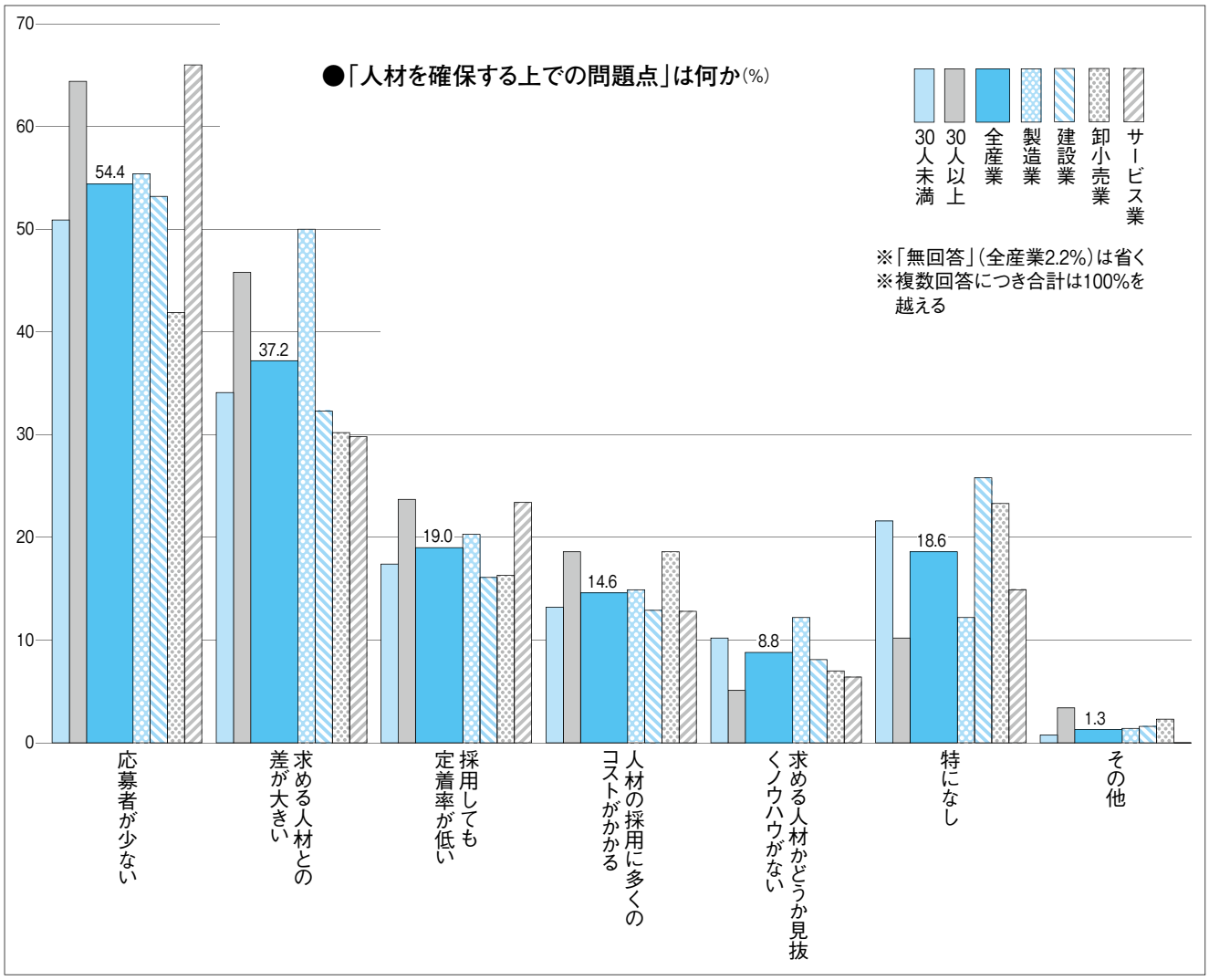
2位「**求める人材との差が大きい**」37%

3位「**採用しても定着率が低い**」19%

「**人材を確保する上での問題点は何か**」を聞きました。

過半数の「応募者が少ない」(54%)、「求める人材との差が大きい」(37%)のあと、「採用しても定着率が低い」(19%)、「人材の採用に多くのコストがかかる」(15%)、「求める人材かどうか見抜くノウハウがない」(９%)の順となりました。「特になし」は19%でした。

従業員の規模で比べると、30人未満は「求める人材か見抜くノウハウがない」(10%)が５ポイント、30人以上より高くなりました。30人以上は「応募者が少ない」(64%)が14ポイント、「求める人材との差が大きい」(46%)が12ポイント、「採用しても定着率が低い」(24%)が６ポイント、「人材の採用にコストがかかる」(19%)が５ポイント、



30人未満より高くなっています。

業種別

2位「求める人材との差が大きい」
製　造 50%　建　設 32%
卸小売 30%　サービス 30%

製造業　「求める人材との差が大きい」(50%)と「求める人材か見抜くノウハウがない」(12%)が、他業種に比べて最も高くなりました。

建設業　「採用しても定着率が低い」(16%)が他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業　「人材の採用にコストがかかる」(19%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「応募者が少ない」(42%)は他業種に比べて最も低くなりました。

サービス業　「応募者が少ない」(66%)と「採用しても定着率が低い」(23%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「人材の採用にコストがかかる」(13%)と「求める人材か見抜くノウハウがない」(6%)は他業種に比べて最も低くなっています。

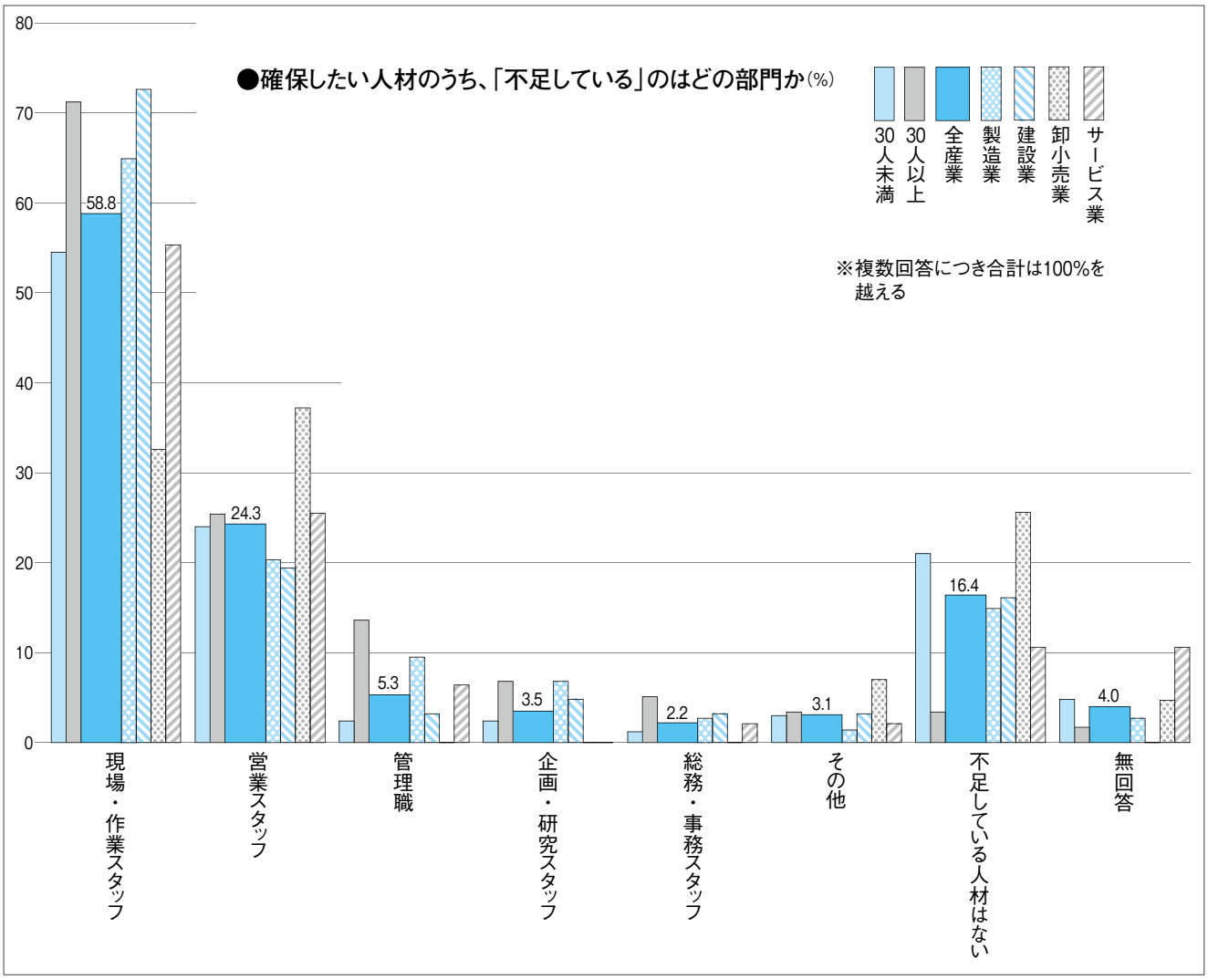
不足している人材はどの部門か

2位「営業スタッフ」24%
3位「管理職」5%

「**確保したい人材のうち、不足しているのはどの部門か**」を聞きました。

「現場・作業スタッフ」(59%)と「営業スタッフ」(24%)が他を引き離しています。「管理職」「企画・研究スタッフ」「総務・事務スタッフ」と「その他」は5%以下で、「不足している人材はない」は16%でした。

従業員の規模で比べると、30人未満は「不足している人材はない」(21%)は18ポイント、30人以上より高くなりました。30人以上は「現場・作業スタッフ」(71%)が17ポイント、「管理職」(14%)が11ポイント、30人未満より高くなっています。



業種別2位

製　　造「営業スタッフ」20%
建　　設「営業スタッフ」19%
卸 小 売「現場・作業スタッフ」33%
サービス「営業スタッフ」26%

製造業　「管理職」(10%)と「企画・研究スタッフ」(７%)が他業種に比べて最も高くなりました。

建設業　「現場・作業スタッフ」(73%)と「総務・事務スタッフ」(３%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「営業スタッフ」(19%)は他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業　「営業スタッフ」(１位・37%)と「不足している人材はない」(26%)が他業種に比べて最も高くなりました。他方、「現場・作業スタッフ」(２位・33%)、「企画・研究スタッフ」(０%)、「総務・事務スタッフ」(０%)、「管理職」(０%)は他業種に比べて最も低くなりました。

サービス業　「不足している人材はない」(11%)と「企画・研究スタッフ」(０%)が他業種に比べて最も低くなりました。

[調査要領]
実施期日：2018(平成30)年９月上旬～中旬
実施方法：第173回景況アンケート調査に併記
調査企業：回収226社(製造業74社、建設業62社、卸小売業43社、サービス業47社)
うち従業員30人未満167社(73.9%)

人材確保に関する企業からのコメント

製造業

◇民間の会社説明会は費用負担が大きいので、10月のハローワーク合同面接会に期待している。
◇現場を任せられる人材が確保できず、幹部が現場に付きっきりで、営業活動に専念できない。
◇会社の要求と応募者の知識の差が大きすぎるため、採用決定が遅くなる。　(以上食料品)
◇求める条件を明確にしてから人材を確保したいが、なかなかまとまらず困っている。(シール・ラベル)
◇募集すると数十人の応募はあるが、学歴は立派でも、専門職に合う人がなかなかいない。(一般機械)
◇学生時代バイト等で稼いでいるせいか、地道な仕事に積極的姿勢がない。　(半導体加工)
◇働く人の立場に立った決め事が多すぎて、会社方針を変えなければならないことが多く、ハローワークに頼みにくい。　(段ボール用印版)
◇零細企業に応募者は少なく、入社しても社員教育ができる体制にない。(キノコ栽培機械・環境機械)

建設業

◇良い人材を入社させると、また良い人材を探してくるようになる。
◇業種のイメージが悪いからか、新卒者は定着しない。
◇人がいなくてもいても、求める人材とは差があり、どうすればよいのか、全くわからないまま５年が過ぎてしまった。
◇人材確保のためにいろいろな活動をしている。最近では社屋の内装を、昭和50年代のものから現代の若者に好まれる内装に替えたり、社名変更の検討に入ったりしているところ。　(以上総合建設)
◇採用しても定着しない。残業するのは一部の人で、平均的なローテーションになっていない。　(建築)
◇求人はここ２・３年、中途採用も含め予定人員は確保できている。リーマンショックなど不況時の採用抑制の影響による中間管理職不足は、教育訓練で底上げを図ってきた。　(内装仕上)

卸小売業

◇将来を見据え、地道に働く意欲を持った人材の応募が少ない。親の育て方に問題があるような気がする。　(業務用食品・酒類小売)
◇未経験の人を採用しても、教育のノウハウや時間など、スタッフに余裕がないため、人を育てられない。　(自動車販売・整備)

サービス業

◇一貫して新卒のドライバー志望者を採用し、免許取得を含め育成してきたが、一人前になった頃に他社へ移るケースもあり、短期的には生産性の足を引っ張っている。
◇業界全体が人材(ドライバー)不足で、応募者が少ない。　(以上運送)
◇10年程前から派遣社員が全従事者の半数を占めている。この中でも能力・やる気のあるなしの差が大きくなっている。　(旅館)
◇前年に２カ月間、新聞・情報誌に求人を掲載したが、１件の問い合わせがあったのみ。次の手を打つのに苦慮している。(測量・建設コンサルタント)

生活者アンケート
環境問題
30年9月調査

「地球温暖化や気候変動」の実感 1位「感じている」63%

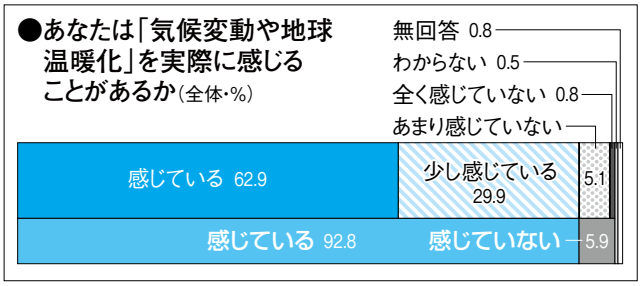
「地球温暖化」で生活を見直すか 1位「最低限の協力はする」57%

「地球温暖化や気候変動」の実感 2位「少し感じている」30%

「『**気候変動や地球温暖化**』を実際に感じることがあるか」を聞きました。

「感じている」(63%)と「少し感じている」(30%)を合わせた[感じている]は9割を超えています。他方、「あまり感じていない」(5%)と「全く感じていない」(1%)を合わせた[感じていない]は6%でした。

[感じている]は、世代比で30～40代(93%)と50代以上は1ポイントの差ですが、男女比では女性(96%)が男性より5ポイント高くなっています。

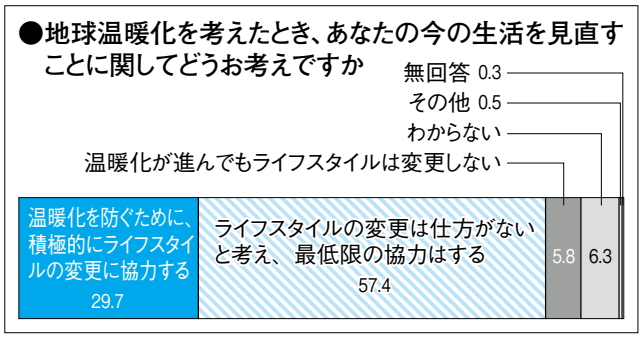


「地球温暖化」で生活を見直すか 2位「積極的に協力する」30%

「『**地球温暖化**』問題は、今の生活を見直すことに関してどのように考えるか」を聞きました。

「温暖化を防ぐために積極的にライフスタイルの変更に協力する」と答えたのは30%、「ライフスタイルの変更は仕方がないと考え、最低限の協力はする」が57%、「温暖化が進んでも、ライフスタイルは変更しない」が6%でした。「その他」には「そもそも温暖化は疑問」の回答がありました。

男女比で[積極的に協力する]は、女性(31%)が男性より2ポイント高く、[最低限の協力はする]も、女性(58%)が男性より1ポイント高くなりました。世代比では、[積極的に協力する]は、10～20代が50代以上より4ポイント高くなっています。



[調査要領]
実施期日：2018(平成30)年9月上旬～中旬
実施場所：長野信用金庫本支店窓口
対 象 者：来店客394人(男性244人・女性150人)
調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

環境問題に関する生活者からのコメント

◇アンケートを通して、環境問題をもっと自分のことのように考えようと思った。 (20代女性)

◇太陽光発電パネルが休耕田に数多く設置され、自然環境が変化しつつある。無制限でいいのだろうか。

◇当然のごとくになった24時間営業、即日宅配サービスなど、便利さの追求を見直すことも重要。 (以上20代男性)

◇個人でできることは限界があるので、国や自治体の取組みに期待する。そのうえで協力したい。

◇残業を減らして電気の使用を削減し、電子化によって紙の使用量を減らすべき。 (以上30代女性)

◇スーパーマーケットや役所など、膝が痛くなるほど冷房が効きすぎている。省エネに配慮すべき。 (30代男性)

◇最高気温が体温を超えるなんてことが、実際に起きた。地球はどうなってしまうのだろう。

◇無理をしないで、できるだけ長く続けられる省エネ対策を行いたい。 (以上40代女性)

◇自然災害の多発する現在こそ、自然に畏敬の念を払い、環境問題を最重要課題にすべきである。

◇自分が世の中からいなくなっても、次世代につながる活動をしたい。 (以上40代男性)

◇大雨・大雪・高温・台風、異常気象が一番気になる。国の取組指針が必要ではないか。 (50代女性)

◇地球温暖化が人間によるものなのかは不明だが、省エネルギーは大いに賛成。協力する。

◇外食や宴会など、食べ物の廃棄を減らすよう「持ち帰り」をさせる。 (以上50代男性)

◇地球温暖化が叫ばれてすでに30年ほど経っている。国も本気で取り組まないと、100年なんてすぐ。

◇原発の最終処理もできない日本が、原発を使用続けることは悪である。 (以上60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

（51）権堂の水茶屋

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

権堂のはじまり

本年度は、文政10年（1827）に出版された広告集、『諸国道中商人鑑（あきゅうどかがみ）』（善光寺之部）の絵を紹介しています。今回は権堂の水茶屋、広田屋仁兵衛です。

「権堂」とは、仮堂という意味だと言われています。「権（ごん）」には、正式でないもの、副、といった意味があって、権大納言などと使われるからです。権妻（側室）という語もあります。

善光寺表参道から権堂アーケードを東に入ると、すぐ北側に往生院という寺があります。この寺が地名権堂の起りになったとされています。昔、善光寺が火災に遭った時（いつであるかは諸説あります）、この寺が善光寺の仮堂になったことから、権堂という地名が起こったというのです。

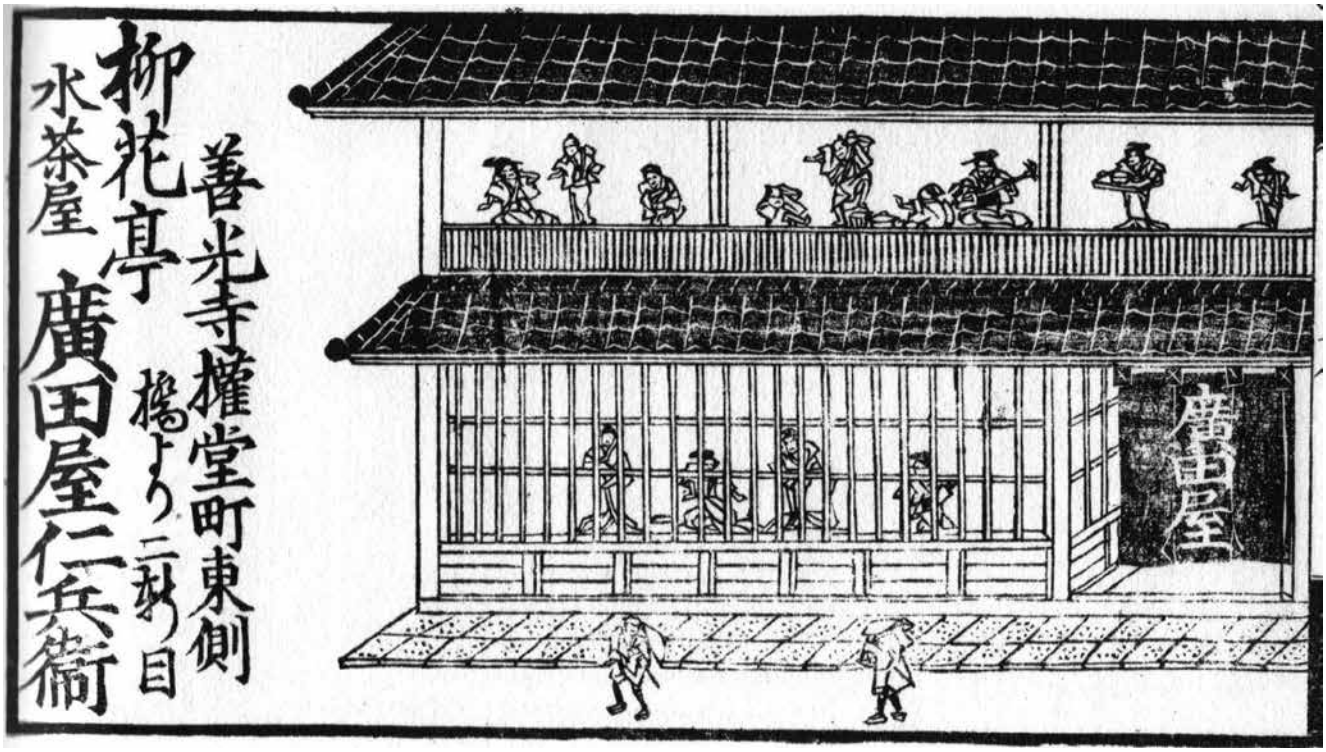
権堂の水茶屋

現代の権堂町は長野県一の歓楽街として知られていますが、その起源は江戸時代にあります。元禄年間（1688～1704）ころから水茶屋と呼ばれる遊女屋ができ始め、文政12年（1829）には水茶屋30軒に200人以上の女を抱えるようになりました。

現代の権堂町はアーケード街をメインとした東西の町のイメージがありますが、江戸時代の権堂は南北の町でした。善光寺表参道の１本東側の通りで、東町を南に延長した街路です。この通りを表権堂といいます。もう１本東の通りが裏権堂で、現在は南に延長されて、千歳町通りとなって長野駅方面に通じています。江戸時代の権堂は、この表権堂と裏権堂の間に水茶屋が建ち並んでいました。

絵を読む

左下の図は、権堂の水茶屋、広田屋仁兵衛の広告です。左側に、「善光寺権堂町東側、柳花亭、橋より二軒目、水茶屋、広田屋仁兵衛」と書いてあります。「善光寺権堂町」は表権堂のことで、広田屋は南北の通りの東側にありました。「橋より二軒



権堂町の水茶屋広田屋の図（『諸国道中商人鑑』より）

目」とありますが、「橋」は東町と権堂町の間の鐘鋳川に掛かっていた橋です。現在は鐘鋳川は暗渠になっているので、橋はありません。その橋から南に２軒目が広田屋のあった場所です。

右側に入口があり、「広田屋」と染め抜いた暖簾が掛かっています。そして注目すべきは、左側の粗い格子の中から通行人に声を掛ける女たちです。こうした構造は張見世といって、江戸の吉原などでも有名ですが、権堂にも張見世があったのです。

水茶屋広田屋があった表権堂の現在の街並み

声を掛けられているのは、笠をかぶっていることから、地元民ではなく旅人であることが分かります。花の権堂を行き来していたのは、冷やかしも多かったでしょうが、主に旅人だったようです。権堂が善光寺参りの精進落としの町と言われてきたのもうなずけます。

２階には、遊ぶ客の姿が見えます。中央は３人の客で、１人が三味線と唄に合わせて踊っています。右からは料理が運ばれてきます。

広田屋の実態

『諸国道中商人鑑』が出版された23年後の、嘉永３年（1850）の権堂水茶屋の実態が分かる史料があります。それによれば、広田屋仁兵衛は水内郡の山中の出身で、権堂に来て遊女屋を始めました。休業した時期もありましたが、明行寺の旧地に店を新築して再開しました。嘉永元年（1848）に仁兵衛が死んだ後は、未亡人のよしが経営を引き継いでいます。嘉永3年当時は、ふさ・ひな・やす・かる・きさの５人を抱えていました。この史料によれば、当時の水茶屋にはそれぞれ３人～12人の女がいました。広田屋はごく普通の大きさだったのでしょう。

大門町の反対運動

こうした権堂の繁栄を最も恐れたのは、善光寺宿であった大門町です。大門町は公認された宿場ですが、善光寺の門前には、他に宿坊・東之門町などの木賃宿・権堂の水茶屋など、宿泊地がたくさんありました。中でも権堂が繁栄すると大門町が衰微するということで、大門町は危機感を持ったのです。

嘉永３年（1850）大門町は他の14町と連名で、権堂の水茶屋営業を禁止してほしいと寺社奉行に訴え出ました。この訴訟は結局、相撲年寄の追手風喜太郎が間に入り、和解が成立しました。大門町の訴訟費用200両は権堂が負担し、権堂は善光寺宿に毎年30両ずつ出すことになりました。証文には、いずれ廃業すべきだが当面はこのまま営業する、地元の者には遊興させないなどの文言が記されましたが、実際には空文に等しいものでした。

11月号は「権堂の水茶屋（続）」の予定です。

環境問題 ① 生活者

●「地球規模の環境問題」で関心の深いこと

1位「温室効果ガスによる地球温暖化」62%　2位「天候不順による食料不足」40%

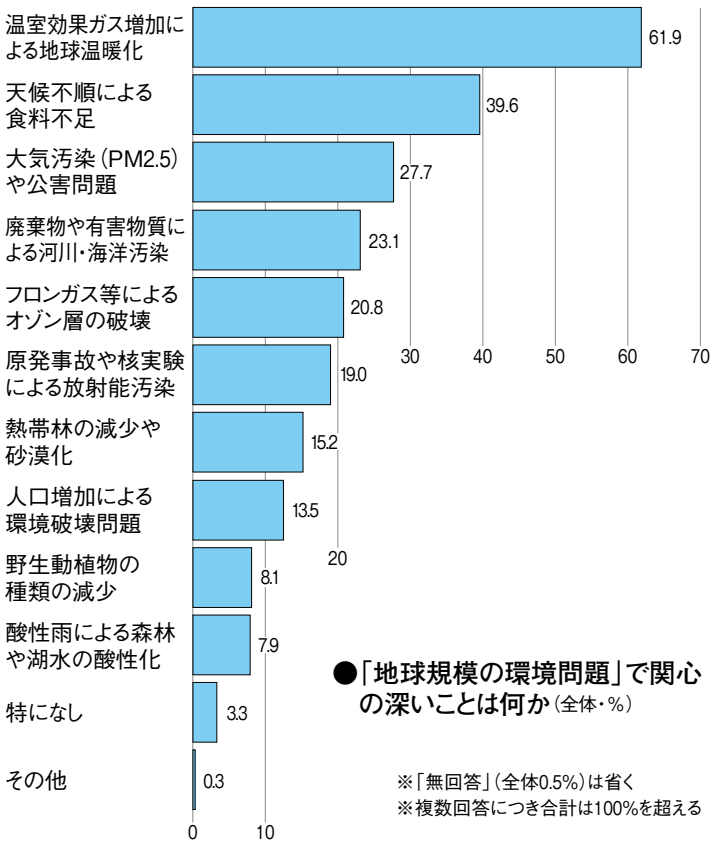
「『**地球規模の環境問題**』で関心の深いことは何か」を聞きました。

上位は「温室効果ガス増加による地球温暖化」(62%)、「天候不順による食料不足」(40%)、「大気汚染(PM2.5)や公害問題」(28%)となりました。

そのあと「廃棄物や有害物質による河川・海洋汚染」「フロンガス等によるオゾン層の破壊」「原発事故や核実験による放射能汚染」が20%前後となっています。「熱帯林の減少や砂漠化」と「人口増加による環境破壊問題」は10%台です。

世代別で見ると、10～20代は「食料不足」「オゾン層の破壊」「放射能汚染」が低くなりました。30～40代は平均的です。50代以上は「河川・海洋汚染」が高くなっています。男女別はともに平均的でした。

〈当金庫・30年９月調査〉



●「地球規模の環境問題」で関心の深いことは何か(全体・%)

※「無回答」(全体0.5%)は省く
※複数回答につき合計は100%を超える

●みなさまの経営相談のご案内［11月］

(注)上の店名は開催場所、下の(　)内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
11月 2日	金	城北支店(若槻支店)	柳原支店(東長野支店)	11月16日	金	若穂支店	小布施支店(中野支店)
6日	火	屋代支店(稲荷山支店)	戸倉支店(上山田支店・坂城支店)	19日	月	墨坂支店(須坂支店・太子町支店)	飯山支店(山ノ内支店)
7日	水	大豆島支店(長池支店)		21日	水	大門町支店(桜枝町支店)	善光寺下支店(権堂支店)
8日	木	南支店(七瀬支店)	吉田支店(古里支店)	26日	月	本店営業部	
12日	月	篠ノ井支店(川柳支店)	川中島駅前支店(川中島支店)	28日	水	本部	
14日	水	更北支店(松代支店)	伊勢宮支店(石堂支店)	30日	金	本部	

●11月の「しんきん事業相談会」は11月７日㈬です

長野信用金庫　総合企画部

本店　〒380-8686　長野市居町 133-1　TEL 026-228-0221㈹

長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます●